

衣替えです。

6月になりました。衣替えです。学校も衣替えをすることにしました。校長室前廊下にありました、大学合格者の氏名掲示を人数だけにすることといたしました。5月20日から試験的にして参りましたが、問い合わせ等がないことから、このまま継続することといたします。

合格者には心からその栄光を褒め称えて参りますが、氏名を公表することにより様々な不都合が生まれるリスクがあることから、生徒達にリスクを背負わせることをやめることとしました。

進路実績については、このホームページにも過去からの流れが掲載されていますのでどうぞご参照下さい。

進路先の開拓については、激動の時代を迎えております。特に、国公立においては、難関校といわれる大学へ中高一貫系の高校からの進学実績が伸びております。実績が伸びている理由は、数学の進度が6年間のスパンで進むため、様々な対応が可能になることと、英語においても、6年間のスパンで単語量や速読の技術が進むことです。

また、都市部の私立文系学部においては、定員の1, 2倍までしか合格させることができないという文部科学省の縛りがきつく働いており、競争率と合格ラインが大きく跳ね上がっております。早稲田慶応などは、センター試験の併願においては、900点満点で850などという合格ラインとなったと聞いており、現実離れになっております。

このような現実をどうにかして克服していかねばなりません。長期的には、単位制のカリキュラムの導入やどのようにするかはともかくとして、6年のスパンでの教育が必要になると考えます。

短期的には、学習時間を確保し自学する心を育て、積極的に進路指導部が今計画している様々な手立てを生かす環境を作ります。また、授業を大切にし、アクティブラーナーとして表現できる様々な機会を生かしながら、基礎的な知識を構築し、探求し考察し表現できる力を育てます。

豊かな心を持って、焦らず周章せず諦めず、前に進んでいくことを共有していきます。

元々力を持っている生徒達ですので、その力をどのように生かしていくのかをいつも見ていきたいと思っております。私一人ではなく、磐城高校という組織を上手に生かしていきたいと思っております。

先生方も忙しい毎日ですが、目の前の生徒のためには骨を惜しむ者は一人もおりませんので、どうぞよろしく願いいたします。

